

2017年6月期 第2四半期 決算補足資料

2017.2.13

日本工営株式会社

IRに関するお問い合わせ：経営企画部 コーポレートコミュニケーション室 03-5276-2454

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

2017年6月期 第2四半期実績

(単位:百万円)	2016.6期 第2四半期 実績	2017.6期 第2四半期 実績	前年同期 増減	前年同期 比率	2017.6期 第2四半期 参考値(*2)	前年同期 比率
受注高(*1)	38,245	58,451	20,206	152.8%	52,895	138.3%
売上高	20,336	26,304	5,968	129.3%	20,311	99.9%
売上総利益	4,736	8,368	3,632	176.7%	5,674	119.8%
営業利益	▲ 3,500	▲ 2,747	752	—	▲ 2,824	—
経常利益	▲ 3,328	▲ 2,286	1,041	—		
親会社株主に帰属 する四半期純利益	▲ 2,651	▲ 1,800	850	—		

(*2)都市空間事業の数値を除いた場合の参考値

- 受注高は、コンサルタント国内・コンサルタント海外事業が好調で前年同期を大きく上回る
- 売上高は、BDP社連結の影響を除くとほぼ前年同期並み
- 営業利益は、コンサルタント海外・電力エンジニアリング事業の好調に伴い、収益改善
(営業利益率 2016.6期 2Q:▲17.2%→ 2017.6期 2Q:▲10.4%)

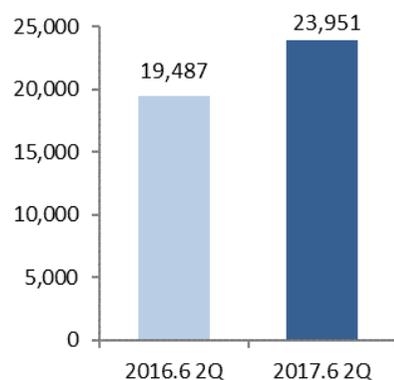
(*1)2017年6月期より、受注高の算出基準を変更しております。詳細は、当資料10ページをご確認ください。2016年6月期第2四半期実績についても同様の基準にて算出した数値を記載しております。

セグメント別実績(受注高)

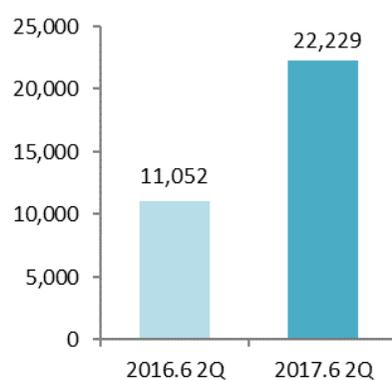
(単位:百万円)	2016.6期 第2四半期 実績	2017.6期 第2四半期 実績	前年同期 増減	前年同期 比率
受注高(*1)	38,245	58,451	20,206	152.8%
コンサルタント国内	19,487	23,951	4,464	122.9%
コンサルタント海外	11,052	22,229	11,177	201.1%
電力エンジニアリング	7,697	6,690	▲ 1,007	86.9%
都市空間	—	5,555	5,555	—
その他	7	24	16	324.1%

(*1)2017年6月期より、受注高の算出基準を変更しております。詳細は、当資料10ページをご確認ください。2016年6月期第2四半期実績についても同様の基準にて算出した数値を記載しております。

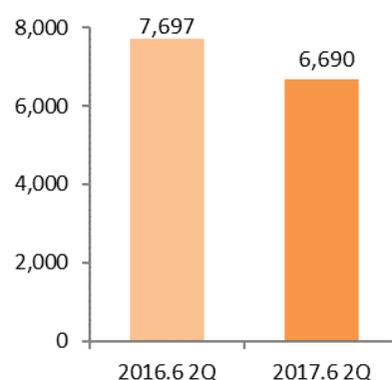
■コンサルタント国内



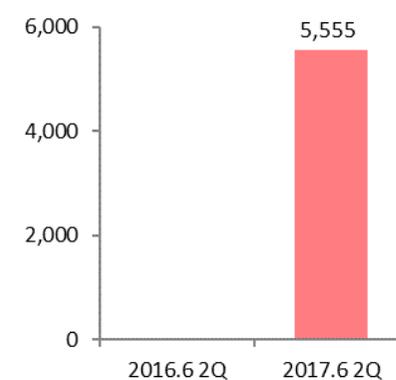
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



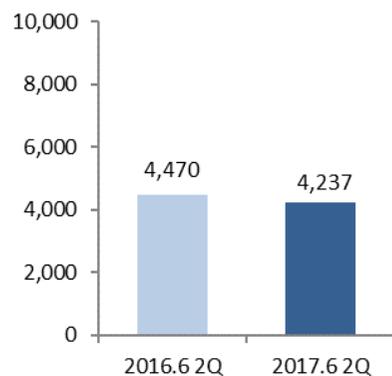
■都市空間



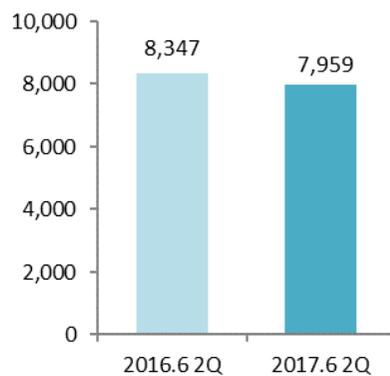
セグメント別実績(売上高)

(単位:百万円)	2016.6期 第2四半期 実績	2017.6期 第2四半期 実績	前年同期 増減	前年同期 比率
売上高	20,336	26,304	5,968	129.3%
コンサルタント国内	4,470	4,237	▲ 233	94.8%
コンサルタント海外	8,347	7,959	▲ 388	95.3%
電力エンジニアリング	7,148	7,738	589	108.2%
都市空間	—	5,993	5,993	—
不動産賃貸	270	241	▲ 29	89.3%
その他	98	134	36	136.9%

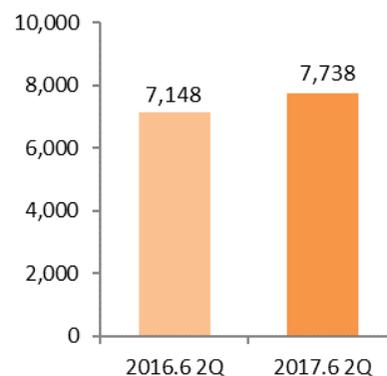
■コンサルタント国内



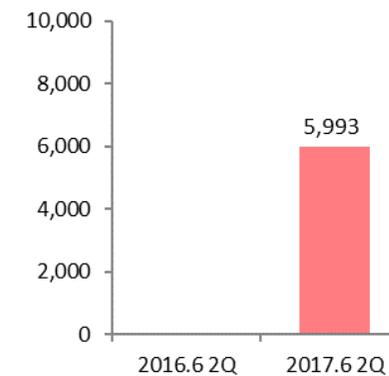
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



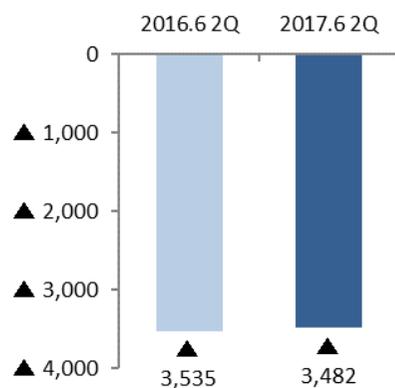
■都市空間



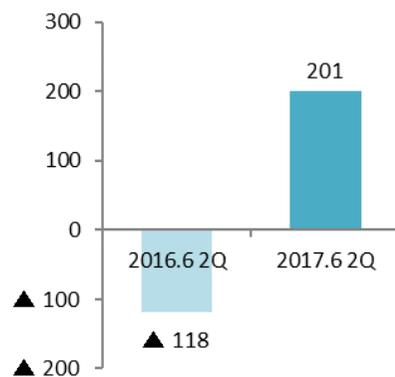
セグメント別実績(営業利益)

(単位:百万円)	2016.6期 第2四半期 実績	2017.6期 第2四半期 実績	前年同期 増減	前年同期 比率
営業利益	▲ 3,500	▲ 2,747	752	—
コンサルタント国内	▲ 3,535	▲ 3,482	52	—
コンサルタント海外	▲ 118	201	319	—
電力エンジニアリング	1,166	1,442	276	123.7%
都市空間	—	76	76	—
不動産賃貸	201	203	2	101.3%
その他・全社費用	▲ 1,214	▲ 1,189	25	—

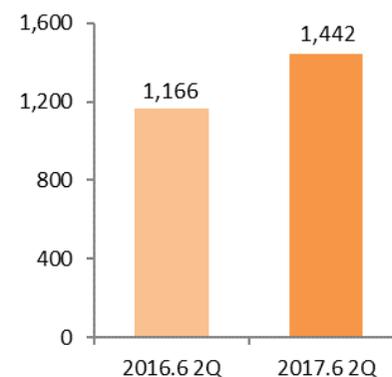
■コンサルタント国内



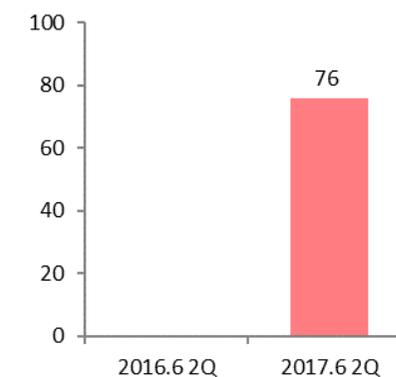
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



■都市空間



セグメント別概況(1)

コンサルタント国内

- 受注高は、前倒し発注の獲得および重点事業領域の受注獲得が好調で前年同期を上回る
(※カイロ地下鉄案件の日本シビックコンサルタント(株)受注分約20億円は、コンサルタント国内に計上)
- 売上高は、特殊な大型案件(小水力発電等)の減少や繰越案件の増加により前年同期を下回る
- 営業利益は、生産性向上により売上総利益が増加し、減収したが増益

コンサルタント海外

- 受注高は、大型案件の受注が伸長し、前年同期を大幅に上回る
(※カイロ地下鉄案件の日本工営(株)の受注分約80億円を計上)
- 売上高は、交通運輸セクターを中心に順調に進捗したものの、バングラデシュ国案件が一時中断を余儀なくされたことなどが影響し前年同期を下回る
- 営業利益は、収益管理のための諸施策の継続実施による原価率改善が寄与し、減収ながら上半期で黒字化(営業利益率▲1.4%→+2.5%)

電力エンジニアリング

- 受注高は、複数の案件で成約遅れが発生し、前年同期を下回る
- 売上高は、過年度受注した大型案件の進捗(完工)が好調で、前年同期を上回る
- 営業利益は、大型案件が多く完工したため、前年同期を上回る。生産性向上の取組みも着実に進展(営業利益率 16.3%→18.6%)

セグメント別概況 (2)

都市空間

- 受注高は、EU離脱決定直後の7~8月に新規発注決定が若干停滞するも、ほぼ計画通りの進捗
- 売上高は、英国内および海外のいずれも、現地通貨ベースでは計画通りの進捗
- 営業利益は、為替(ポンド安)影響を受けるも、ほぼ計画通り(のれん後営業利益率 1.3%)
※償却費は、2017年6月期は約10億円(のれん:約5億円、その他無形固定資産:5億円強)

※BDP社は3か月ずれでの連結となるため、当第2四半期(2016年7~12月)は、2016年4~9月の6か月分の業績を連結しております。

※2Q実績レート 1£=144.5円 (2017年6月期計画レート1£=160円)

2017年6月期 通期見通し（受注高修正）

カイロ地下鉄案件の受注を織り込み、受注高見通しを上方修正。
 売上および営業利益の通期見通しについては、変更なし。

（単位：百万円）	2016.6期 通期実績	2017.6期 通期見通し	前年同期 増減	前年同期 比率
受注高	104,019	114,000	9,980	109.6%
売上高	81,865	105,000	23,134	128.3%
- コンサルタント国内	40,778	45,000	4,221	110.4%
- コンサルタント海外	22,070	26,000	3,929	117.8%
- 電力エンジニアリング	17,522	18,500	977	105.6%
- 都市空間	-	14,000	14,000	—
営業利益	4,723	6,000	1,276	127.0%
- コンサルタント国内	2,956	3,200	243	108.2%
- コンサルタント海外	1,156	1,600	443	138.3%
- 電力エンジニアリング	3,048	3,100	51	101.7%
- 都市空間	-	600	600	—
経常利益	4,365	6,300	1,934	144.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,823	3,600	1,776	197.5%

※売上高および営業利益について、主要セグメントである、コンサルタント国内/コンサルタント海外/電力エンジニアリング/都市空間事業の内訳のみを記載しております。売上高・営業利益の合計値には、不動産賃貸事業ほかが含まれています。

2017年6月期 通期見通し（受注高修正）

（単位：百万円）	2017.6期 当初通期見通し	2017.6期 通期見通し(修正後)	増減
受注高	104,000	114,000	10,000
- コンサルタント国内	46,000	48,000	2,000
- コンサルタント海外	28,000	36,000	8,000
- 電力エンジニアリング	16,000	16,000	0
- 都市空間	14,000	14,000	0

（内訳）

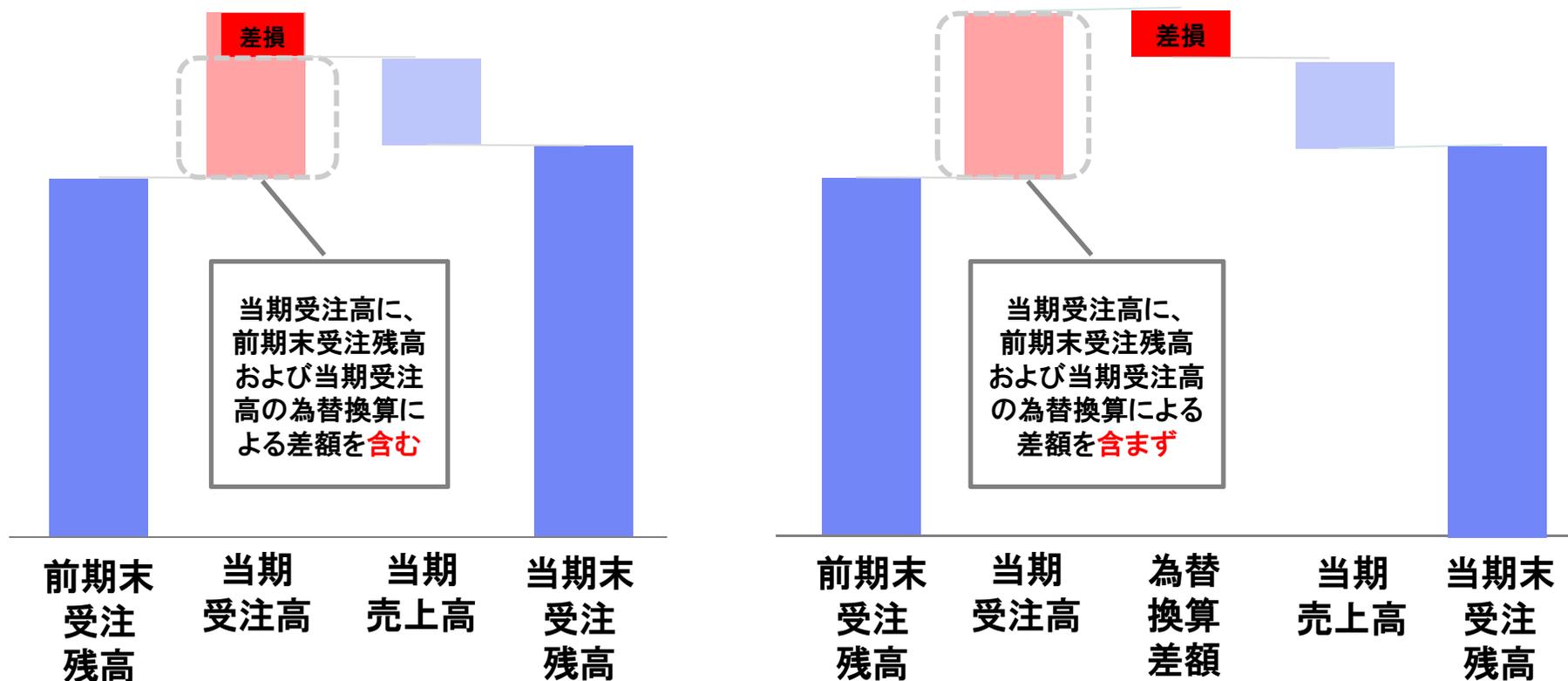
コンサルタント国内事業 カイロ地下鉄案件の日本シビックコンサルタント(株)受注分 20億円
 コンサルタント海外事業 カイロ地下鉄案件の日本工営(株)受注分 80億円

(参考) 受注高の算出基準変更について

従来の受注高実績には、前期末受注残高および当期受注高の為替換算による差額(*)を含んでおりましたが、今期より為替換算による差額を除いた受注高を記載しております。

■従来の算出方法

■今期からの算出方法



(*)前期末受注残高および当期受注高の為替換算による差額(為替影響額)は、決算短信12ページ「4.補足情報」に記載しております。